

フルセグ地デジアンテナ Shark Tooth II 取扱説明書

型格 JML0408PB-B



本製品は地上デジタル放送を受信するアンテナです。テレビ・チューナーのアンテナコネクタやパソコン・タブレット・スマホへUSBチューナーのアンテナコネクタと接続して使用します。

- ・75Ω用（F型メスコネクタケーブル）
- ・地上デジタル放送用（VHF,BS,CSは受信できません）
- ・水平・垂直偏波用
- ・強電界地域用（送信塔に近い電波の強く受信できる地域でご使用ください）
- ・取付に便利なビニールカバーでラッピング
- ・ビニールカバー写真入れポケット付
（写真ポケットサイズ 19.5cm × 11cm）

*1 卓上スタンドは付属しません。

正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に本書をよくお読みください。本書は読んだ後も大切に保管しておいてください。

目次	ページ
付属品（内容物の確認）	1
安全上のご注意	2
使用上のご注意	3
各部の名称	4
アンテナを組み立てる	5
接続する 設置する	6
アンテナの方向を調整する	7
テレビが綺麗に見られない時は	8
製品仕様	9
保証について	10
再検査のお申込み方法について（お問合わせ）	11

付属品（内容物の確認）



1. アンテナ本体

2. 取扱説明書（本書）

安全上のご注意（必ずお読みください）

■警告表示

誤った取り扱いによって生じる危害や損害の程度を以下の表示で分類しております。

- 警告** この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
- 注意** この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が負傷を負う可能性が想定される内容、及び、物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■図記号

注意（警告含む）が必要が内容を示しています。

禁止の行為を示しています。

行為を強制したり、指示したりする内容を示しています。

警告

・製品を保護している袋やエアキャップは、お客様の手の届くところに置かないでください。飲み込むと窒息し、死亡の原因になります。

・雷が鳴りだしたら、アンテナ・ケーブルには触れないでください。感電の原因になります。

注意

・アンテナはぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落下してけがの原因になることがあります。

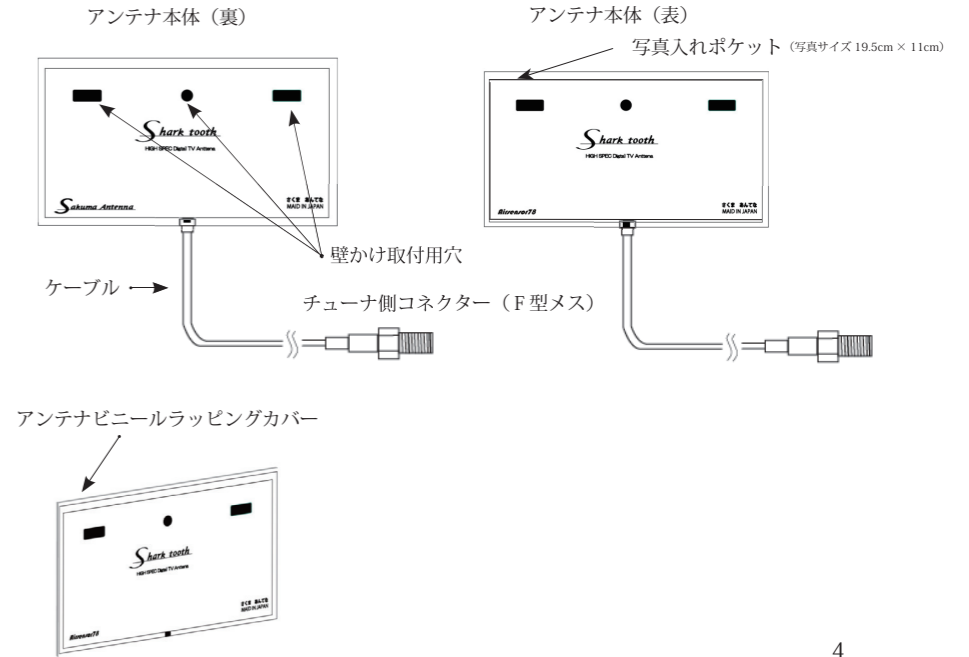
・アンテナを窓等に吸盤で取り付ける際に、下に物を置かないでください。不測の事態で落下する場合があります、物の破損の原因になる場合があります。

・アンテナから各チューナーやテレビに接続する場合、各テレビやチューナーの電源をOFFの状態で行ってください。電源が入ったまま接続作業を行うと、使用しているテレビやチューナーによっては、感電の原因になることがあります。

使用上のご注意

- ・アンテナは屋内&モバイル用です。ベランダ等風雨にさらされる場所での使用は想定されておりません。モバイル等で屋外で使用される場合は雨の当たらない所でご使用ください。
- ・アンテナに市販の反射テープ等金属を含むテープを貼らないでください。アンテナの性能が低下する場合があります。
- ・アンテナに塗料などを塗らないでください。アンテナを傷める原因となります。
- ・アンテナを運ぶ際は、ケーブルだけ持って運ばないでください。落下したり、ケーブルが断線する原因になることがあります。
- ・ケーブルは無理に曲げないでください。断線して故障の原因になることがあります。
- ・アンテナのビニールラッピングカバーはアンテナのスリ傷防止や設置時の利便性のためのものであり、アンテナの性能に影響しません。このためスリ傷等を気になさらない場合は取り除いても構いません。
- ・アンテナビニールカバーやアンテナ本体（カバーを取り除いた場合）の汚れは、柔らかい布等で何もつけずに拭いてください。シンナーやベンジン、アルコール等で拭くとアンテナを傷める原因となります。

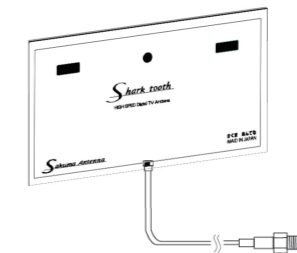
各部の名称



アンテナを組み立てる

■アンテナを組み立てる

アンテナは組み立て済みのため、付属スタンドに貼り付けるだけとなります。



■ビニールカバーの片面に写真入れポケットが付いています。好きな写真を入れられます。

■市販の吸盤式スタンドを使用する場合（例）

アンテナ側及び壁、窓設置部分が吸盤になっています。アンテナ本体（表裏どちらでもかまいません）をアンテナ本体側吸盤に押しつけ貼り付けてください。しっかり吸着していることをご確認ください。吸着力が弱い場合は市販のテープ等で固定してください。

窓側吸盤を取り付けたい窓等に蜜着させて、窓側吸盤吸着レバーを窓側に倒して、圧着させてください。そのあとアンテナと窓が水平になるように角度を変えてください。角度の調整はアンテナ角度の方向を調整するを参照ください。

■壁掛け取付用穴を使用する場合

アンテナを壁掛けにする場合はアンテナカバー（ビニール）の取り付け穴をカッター等で穴を開けて、ご使用ください。またピン等も容易に刺すことができます。一度開けた穴は元に戻りませんのでご了承ください。

なお金属製の取り付け金具等を使用するとアンテナの特性が変わる場合があります。

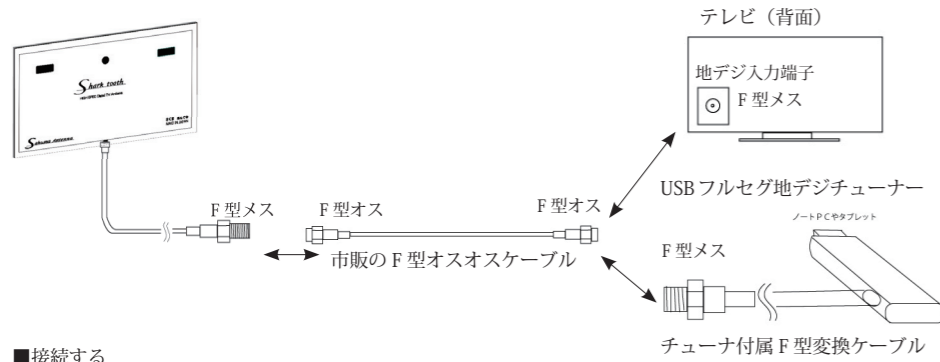
できるだけプラスチック素材等の取り付けフック等をご利用ください。

■モバイルで外出先で使用する場合

ケーブルの接続口に圧力がかからないように持ち運びください。



接続する 設置する



■接続する

テレビやチューナーの地上デジタル入力端子にアンテナの出力接続プラグを接続します。

テレビ及びチューナー側のF型入力端子（メス）にF型オスオス接続ケーブル（市販 別売り）

を使用して接続してください。

■設置する

お客様のご利用シーンに応じて設置してください。

• 写真入れポケットにお好きな写真をお入れください（任意）。

写真サイズ 19.5cm × 11cm まで入りますが、写真の方向にかかわらず、アンテナはケーブル側を下にしてお使いください。（水平偏波時） ただし垂直偏波時はケーブル側を横にして下さい。（垂直偏波時）

• 市販スタンドを使用し室内で使用する ・吸盤スタンド（別売り）を使い窓に取り付ける

• アンテナをモバイル端末とともに持ち出して使用する ・壁にフックで取り付ける

■使用上の注意

• アンテナの置き場所によって画像が乱れることがあります。出来るだけ映りの良い場所を選んでください。

• 送信塔に近く、強い電波を受信できる地域でご使用ください。

• 建物の構造や設置場所によっては受信できない所があります。

■注意

アンテナはぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。

落下してけがの原因になることがあります。

■設置場所について

• 建物の構造や設置場所によってテレビ画面の映像にモザイク状のノイズが出たり、映らなかつたりすることがありますから電波の受信しやすい場所を選んでください。

• アンテナの近くで人が動くとテレビの画面にモザイク状のノイズが出ることがあります。

• 金属製の台や周囲に金属製のものがある場所に設置しないでください。金属の影響で性能が低下することがあります。

• スタンドは一般の樹脂製の吸盤を使用しています。場合により劣化等で色移りや硬くなる場合があります。

大切な家具などの上に設置しないでください。

6

テレビが綺麗に見られないときは

テレビ画面やモバイル機器で映像を確認します。

アンテナの方向を調整したら、テレビやモバイル機器で映像を確認します。

以下の症状が出る場合は処置に従ってください。

◎送信電波塔の方向にある窓に近いほど電波を受信しやすくなります。

症状	原因	処置
映像が出ない テレビやチューナーの画面表示で受信できない 又は アンテナの設定をご確認してください等のメッセージが出る場合。（お使いのテレビやチューナーによりメッセージは異なります）	ケーブルの接続が間違っている。 信号が来ていない。	アンテナの出力プラグが、テレビまたはチューナーとのケーブルとしっかり根元まで差し込まれているか確認してください。 映像が映るように、アンテナの方向を調整してください。アンテナの設置場所を変えて、電波を良好に受信できるようにしてください。
映像にモザイク状のノイズが出る	受信レベルが低い。	症状が消えるように、アンテナの方向を調整してください。 アンテナの設置場所を変えて、電波を良好に受信できるようにしてください。

8

製品仕様

• 型格 JML0408PB

• 対応 System：日本国内地上波デジタル放送フルセグ対応（ISDB-T）

• 周波数：470～770MHz

• アンテナ構造：基板型ダイポールアンテナ

• アンテナ本体インピーダンス：50Ω

• アンテナ利得：+0.5～+5.0【dBi】

• 使用温度：-20℃～+60℃

• 偏波面：垂直面及び水平面（使用者自由設定）*1

• インターフェイスコネクタ：F(J)型 75Ω

• サイズ：W200 x D115 x H 1【mm】（ビニールカバー部分含まず）

• 重さ：50g（ビニールカバー部分含まず）

*1 水平偏波と垂直偏波

テレビ放送は、送信方式として、大地に対して水平に電波を送る水平偏波と、垂直に電波を送る垂直偏波とがあります。この2種類の偏波がある理由は混信の防止の為です。受信アンテナは、電波を受信するテレビ送信塔の偏波方式に合わせて設置する必要があります。ご近所の屋外アンテナが垂直に取り付けてある場合、

その地域が垂直偏波である可能性が高いので、その場合は設置時にアンテナ

ケーブルを横から出るように設置してください。（D115mm側を大地側）

保証について

本製品は当社品質検査に合格したものです。万一保証期限内での正常な使用状態にもかかわらず、製品が故障した場合、下記記載事項に基づき保証いたします。

• 本製品のアンテナ本体は製品お受取りから3か月間無償保証します。

万が一故障と思われる場合は、再検査のお申し込み方法についてを参照ください。

保証対象外

擦り傷等微細な傷等、アンテナ性能にかかわらないものは保証対象外です。

アンテナのビニールカバーは経年劣化します。

これらの劣化によるアンテナへの特性は影響しません。

アンテナビニールカバーの経年劣化による保証はいたしません。

またビニールカバーの劣化もお客様で代替品をご用意お使いください。

なおその際金属を含む代替品を使用するとアンテナの性能に影響を与えることがあります。プラスチックや樹脂や塩ビ等の製品をご利用ください。

10

再検査のお申し込み方法について（問い合わせ）

■再検査のお申し込み方法について

初期不良・破損・故障商品は、再検査うえ、交換または修理（有償の場合がある）などで対応させて頂くこととなります。再検査をお申し込みの際は弊社ホームページの再検査へのお申し込みをご参照ください。

なおアンテナビニールカバー及びスタンドは対象外です。

■お問い合わせ

お電話によるお問い合わせは現在のところ対応しておりません。お問い合わせをされる場合は、弊社ホームページのお問い合わせのフォームよりお願いします。フォーム以外でお問い合わせをされた場合、ご返事が遅くなる場合があります。お問い合わせの際は、お名前、メールアドレスを必ず明記してください。

未記入の場合、ご返事ができない場合がございますので予めご了承ください。

本取扱説明書はサクマアンテナホームページからでも閲覧できます。

株式会社 サクマアンテナ

住所 〒105-0013 東京都 港区 浜松町2-7-6 亀田ビル5F

e-mail air.sensor78@gmail.com

URL <http://sakuma-ant.tokyo>

11

アンテナの方向を調整する

1. 受信チャンネルの設定（お使いのテレビまたはチューナーの取扱説明書を参照してください）

テレビまたはチューナーのチャンネルスキャン（サーチ）を行って受信チャンネルを設定します。

受信チャンネルを設定できた⇒2. 方向を調整します。

受信チャンネルを設定できない⇒ 接続する 設置する ページを参照してください。

（電波強度が弱いところではチャンネルを設定できない場合があります）

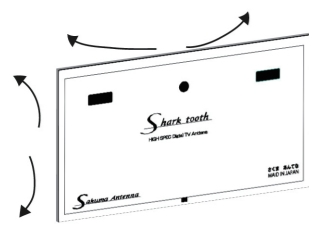
2. 方向を調整する

テレビまたはチューナーの【アンテナレベル（受信レベル）】の値が最大になるように、アンテナの

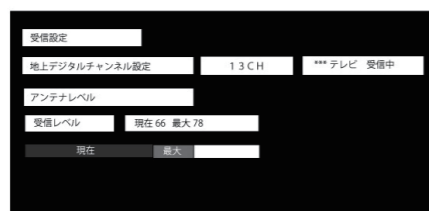
向き。位置を変えます。（全チャンネルが映ることを確認してください）

表示例の画面はテレビ・チューナーによって異なります。

チャンネルスキャンやアンテナレベルの調整は、ご使用の機器の取扱説明書をご覧ください。



アンテナの角度は左右上下で調整ください



テレビやチューナーでのアンテナレベル調整例

7

9